

# いわてスポーツアカデミー支援事業 経過報告

ホッケー競技では、県内の小学生から中学校2年生を対象に、将来のオリンピック輩出を目標に事業を行っております。



1回目は5月にオーストラリアのコーチ、トリストラム・ウッドハウス氏(元オーストラリア代表)を招き、「ホッケークリニック」を3日間行いました。基本的なストローク・レシーブ、ボールコントロールと対人技能を学びました。また、体力トレーニングも交えながら指導には、辛そうな一面も見せていましたが、楽しみながら

行っていました。参加した選手たちは、いままで教わった技術よりも高い技術習得に向け、目を輝かせながら取り組んでいた姿が印象的でした。

2回目は7月にロンドンオリンピック代表の田中泉樹選手(コカ・コーラレッドスパークス所属)を招き、「ホッケークリニック」を2日間行いました。最先端の「ドリブル技術」を中心に指導いただき、参加した選手は難しい技術にもあきらめずにチャレンジし、多くの技術を習得しました。また、岩手県出身でオリンピックの田中選手との交流は、選手の大きな励みとなったことと思います。



3回目は2月に、全日本選手権大会7連覇を誇る、ソニーブラビアレディース所属の阪口真紀選手(鳥取県出身、リオオリンピック代表)、小沢菜々恵選手(岩手県出身)、瀬川真帆選手(岩手県出身、東京オリンピック候補)を招き、「ホッケークリニック」を2日間行い、日本トップレベルの技術より、多くのことを学ぶことができました。



最後になりましたが、今後もホッケー競技において、岩手からオリンピック輩出のため、岩手県・岩手県体育協会・関係団体よりのご支援を頂きながら、選手の発掘・育成、強化に努めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(岩手県ホッケー協会 佐々木)